

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養う。
- 4 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくる。

2 中期的目標

【1】 建学の精神「報恩感謝」を土台に、独自性の高い教育を開発、実践する

(1) 選び抜いた内容を実践し、改良を加える

指導要領の内容と、独自に開発、改良を加えた学習を組み合わせ実践する。
定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を取り入れて教育内容を精選、改善する。

(2) 学校行事の見直し

子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求する。
子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導する。

【2】 基礎学力と基本的な生活習慣の育成

(1) 生活習慣をしつける方策と実行時期の熟慮と、集団の中で育む方法を探求

「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行う。
意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育む。

(2) 基礎学力の徹底

ひとりひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力の基礎を養う。

【3】 主体的な生き方の尊重

一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる教育を行う。
道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくる。

【4】 安心、安全な学校づくり

幼稚園や中学校とのつながりを密にし、相互の教育内容を充実させることにより、長期にわたる同じ方向性を持った指導を行う。
自他の命を尊び、安全なくらしを希求する態度を育てるとともに、緊急時の対応を検討することにより、校内の安全性を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [(平成28年度)平成28年11月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った 評価方法： 各項目について、5段階評価を行った 5：大変そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：普通 2：あまり思わない 1：まったく思わない 評価のための資料：児童(3～6年生)アンケート 保護者(全学年)アンケート 平成28年度小学校教育計画 平成28年度職員会議録 ○児童・保護者アンケート集計・平均(カッコ内は児童の平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に入学させて(して)よかった…4.5(4.6↓) ・学校は学力向上に力を入れている…4.1↑(4.6↑) ・指導方法は工夫され、分かりやすい…4.1(4.3↑) ・主体性、自主性を育む環境が整っている…4.4(4.3↑) ・まじめに授業を受けている…4.1↑(4.1↓) ・行事は楽しく充実している…4.6(4.6) ・学校のきまりはいいきまりだ…4.5↑(4.2) ・きまりの指導に力を入れている…4.1(4.4↑) ・きまりやマナーを守っている…3.9(4.2) ・児童会活動や係り活動をがんばっている…4.5↑(4.6↑) ・友だちとうまくいっている…4.2↑(4.4) ・先生と子どもはうまくいっている…4.3(4.3↑) ・ケンカいじめに対応する…4.2↑(4.2↑) ・制服、ランドセル、体操服が気に入っている…4.2(3.9↓) ・校内の習い事や同好会は充実している…4.3(4.1) ・校内の施設、設備は充実している…4.2(4.1) <p>教職員の自己評価・平均値 個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、その具体化を図っている…4.3↑ 十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…3.9 教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.0 全職員研究会・学年会議を、課題検討・情報交換の場として有効に機能させている…3.8↓</p>	<p>前年に続き、指標の変化をみると保護者、児童の満足度は高い水準で維持されている。教職員の指導方法や考え方は支持されていると考える。</p> <p>保護者、及び児童アンケートの項目と、それぞれの項目に対応する教職員の自己評価を比較すると、大きなずれはみられない。前年まで差が見られた成績通知等に関する保護者の満足度も向上したので、児童の満足度と遜色なくなった。</p> <p>学習について、教職員が分かりやすい授業につとめていることが児童の理解と満足度に反映していると考えられる。職員の個別の研修成果を、より効果的に他の教職員に伝えられるような方法を模索することで、さらなる改善が期待できるのではないかと。</p> <p>行事についての満足度は、保護者、児童ともに高い。継続的に行事内容を刷新していることが反映されていると考えられる。今後も、行事の入れ替えを含めた改善に努力してほしい。</p> <p>職員自己評価のうち、8「教育・子どもに好ましい環境」9「職員の勤務実態と健康管理」18「健康の知識技能の指導」のポイントが低い。健康という目でみた場合</p>

学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4. 1
 学校HPの公開掲示板や通信などで、教育活動の情報提供に努めている…4. 2↓
 緊急時のマニュアル整備や登下校チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4. 2↑
 教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3. 3↓
 職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3. 3↓
 分かりやすい授業の実践に努めている…4. 3↑
 学習意欲向上に努めている…4. 4↑
 学力向上に努めている…4. 5↑
 社会的マナー・モラルの定着に努めている…4. 3↑
 思いやりのある態度育成に努めている…4. 3↑
 保護者との連携に努めている…4. 0
 人権意識向上に努めている…4. 0↓
 自然環境保全の意識向上に努めている…3. 6
 衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…3. 7↓
 防災や安全に関する指導に努めている…4. 0↓
 主体性を重視した指導に努めている…4. 1↑
 読書指導に努めている…4. 0
 挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4. 3↑
 時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4. 4↑
 物を大切にすする心や、美化意識の向上に努めている…3. 9↑
 学習の遅れている児童への支援を行っている…4. 0
 問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている…4. 1↓
 きめ細かな進路相談に努めている…3. 9↓
 活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4. 3↑
 計画的に、教職員対象の研修が行われている…4. 1↑
 個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…3. 6↓
 外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている…3. 7↓

自己評価の分析

- 保護者、児童のアンケートと教員の自己評価を比較した場合、著しくポイントがずれた項目はない。
- 学習に関する評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。年間を通じて行った校内研究授業と公開授業研究会が教職員の個々の指導力向上に役立ったと考えられる。
- 学校運営の9項目のうち、前年からポイントが下がったものが4、上がったものが2、変化のないものが3項目ある。
- 教育内容に関する項目は前年からポイントが下がったものが5、上がったものが9、変化のないものが4項目ある。
- 生活指導について、「時間遵守」「挨拶と礼儀」の項目の評価が高い。これらに関する項目は0.4ポイント上がった。
- 「健康な生活の知識技術の指導」についての評価がほぼ前年同様で低い。
- 進路指導についての評価が若干低い。
- 職員研修9項目のうち、「教育生活指導についての意見交換」「計画的な教職員研修」についての評価が上がった。また、「研究研修支援制度」「情報の共有」の項目について評価が下がった。
- 職員の適切な勤務実態と健康管理の項目が、0.3ポイント下がった。
- 自然環境保全の意識向上に関する項目は前年同様低い。
- 校内美化についての自己評価は、ほんの少し上がったが前年同様低い。

、共通する課題があるのではないかと。教職員の勤務実態の把握方法を再考し、教職員の健康管理、維持を図る必要があるのではないかと。

きまり、マナーといったしつけについての項目は、児童のポイントが高い。これは、子どもたちがマナーについての意識の高さが表れていると考える。保護者ももう少し大きな目で子どもたちのマナーや態度を見てあげればいいのではないかと。授業態度等にも目立った問題は見つからない。さらなる教職員の努力と工夫を期待している。

教室美化について児童のアンケート結果が依然として低い。保護者の評価は高いので、参観日などだけに限らず、日常的な美化が必要であると考えられる。児童会等を活用して、子ども同士が励まし合うような指導方法をより充実させる必要があると考える。

総合的に判断して、教職員の自己評価はおおむね評価通りであり、分析も実態に即したのものであると考えられる。計画的な教職員研修を軸として、児童の学習意欲を向上させる具体的な方策を検討する必要がある。個人的な教員の研究、研修を支援する制度と、得た情報を共有するシステムも同様である。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価と今後の方策
<p>1 建学の精神を土台に、独自の高い教育を開発、実践</p>	<p>1. 「指導要領プラス」をスローガンとしたカリキュラム・教材/教具を模索、実践しその効果を検証する</p> <p>2. 全校行事や宿泊行事を見直す</p>	<p>① 公開授業研究会(平成32年1月予定)を視野に入れ、校内研究授業を計画実践し、今後の研究深化に役立てる。</p> <p>② 指導力向上をめざし、指導要領にプラスした独自性のある学習プログラム開発、授業力錬磨をめあてとした教員研修の積極的参加を奨励する。</p> <p>③ 多様な指導形態による個に応じた指導法の開発に努める。</p> <p>④ 学年主任を中核としたOJTを推進し、若手教員の授業力や児童理解力、学級経営力の育成の日常化を図る。</p> <p>① 保護者や児童の意見をもとに行事(体育会・林間学校)の内容を再検討し、改良を加える。</p> <p>② 外部団体等とつながりを持ち、秋祭り・ヤングアメリカンズの内容を充実する。</p> <p>③ 3年生春の遠足や写生会を取りやめるなど、行事の精選を行う。</p>	<p>教員自己評価のうち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に努めている <p>の評価を4.3以上にする</p> <p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事は楽しく充実している 	<p>教職員の自己評価(平均)：個性尊重・実行から学べ・明朗と自主的教育方針に基づいて、その具体化を図っている…4.0</p> <p>十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…4.0</p> <p>教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.0</p> <p>全職員研究会・学年会議を、課題検討・情報交換の場として有効に機能させている…4.0</p> <p>計画的に、教職員対象の研修が行われている…3.9</p> <p>個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…3.7</p> <p>外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている…3.7</p> <p>活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4.1</p> <p>学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4.0</p> <p>学校HPの公開掲示板や通信などで、教育活動の情報提供に努めている…4.2</p> <p>職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3.5</p> <p>学力向上についての自己評価は目標に達せず。校内研究会などによる実践の交換と討議が必要。行事に関する保護者と児童の満足度は4.6の高水準を維持している。</p>
	<p>2 基礎学力の徹底と指導力の向上</p> <p>3 基本的な生活習慣の育成</p>	<p>1. 国語の観点のうち、「書く能力」の向上を図る</p> <p>2. 国語の観点のうち、「聞く能力」の向上を図る</p> <p>3. 規律遵守の意識レベルの向上を図る</p>	<p>① 「書き、まとめる」「書いて考える」「書いて交流する」授業プランを開発、改良し、複数の教員が授業化することによりプランの質的向上を図る。「書くこと」を意識した授業を全カリキュラムに導入し、児童の書いたノート、WS類を校内研究会で研究の対象とする。</p> <p>② 統一確認テスト等の学力テストで、基準とする値に達していない児童を抽出し、学級担任および学年補助教員が対象児童の学力向上に努める。次年度の学力テストでその成果を再調査し、指導方法が有効であったかを検証する。</p> <p>① 「読む・書く」の「繰り返し練習」により、「話の要旨を的確に把握して、その内容を理解できる」ための基礎となる知識、特に語彙力を増やす。</p> <p>② 読書活動を励行し、「自ら本に手を伸ばす子どもを育てる」ことを意識した指導をおこなう。</p> <p>③ 低学年では「読み聞かせ」を重視し、聞き取った内容や感想を発表し合う場を持つ。</p> <p>④ すべての教科で、聞き取ったことをメモしたりノートに取ったりする活動を増やす。</p> <p>⑤ 児童が最後まで集中して聞いているかどうかを第三者に評価してもらい、アドバイスを受ける。</p> <p>① 「自律の手助け」を念頭に置き、各家庭及び学級に配布する「しつけポスター」を指針として家庭と学校が協力し、指導を行う。</p> <p>② 特に言葉づかい、時間遵守、姿勢について、教員が範を示し児童が見倣うことのできる機会を積極的に増やす。</p> <p>③ 登下校のマナー向上のため、職員が交替で通学路に立ち、児童の直接指導に当たる。</p> <p>④ 児童自身が校内のマナー向上策を考え、実行に移せるような縦割り活動や児童会活動を整備し、活性化を図る。</p> <p>⑤ 校外行事の日、校内に訪問者が来る日を『マナー実践の場』と児童に意識させ、実際の場に応用する機会を作る。</p> <p>⑥ 児童会活動のシステムを、さらによきものになるように検討を加える。</p>	<p>学力テストの、国語の観点別評価項目「書く能力」をすべての学年で、前年度以上に引き上げる</p> <p>学力テストの、国語の観点別評価項目「聞く能力」をすべての学年で、前年度以上に引き上げる</p> <p>規律遵守の意識レベルを向上し、保護者、児童対象アンケート・しつけに関する3項目の平均を維持する</p> <p>教員自己評価の次の4項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的マナー・モラルの定着に努めている ・人権意識向上に努めている ・挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている ・時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている

		<p>⑦ 年度初めに各担任が「学校のきまり」を児童と保護者に説明し、理解と協力を求める。</p> <p>⑧ マナー、しつけについての学期目標を定め、児童と教員に周知しその徹底を図る。</p>		
3 主体的な生き方の尊重	児童の自主性・主体性がより発揮できるよう、児童委員会・係活動・縦割り活動、行事の内容を再検討する	<p>① 児童委員会で「どのようにすればみんなが楽しい学校生活を過ごせるようになるか」を話し合わせ、子どもたち自身で今年度のスローガンをたてる。スローガンを軸に、子どもたちが自主的にあいさつ、相互扶助、ボランティアに取り組める下地を作る。</p> <p>② 行事と学習計画のつながりをより明確にし、児童自身が行事を通して自己の伸びを実感できるプログラムへの改善を図る。</p>	<p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動や係り活動ががんばっている ・行事は楽しく充実している 	<p>主体性を重視した指導に努めている…4.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価指標である左の2項目は、いずれも4.6ポイントと高水準であり、このレベルを維持できていることは評価に値する。行事を改訂した後も、反省会等でさらに検討を加えていることがこの満足度につながっていると考える。この方法を今後も継続したい。
4 安心、安全な学校づくり	<p>1. 児童の生命を守るために、対策をたて取り組む</p> <p>2. 児童の安全に対する意識を向上させるため、特別活動や道徳の時間を使って教育を行う。</p>	<p>① 一般防災に関する対策</p> <p>(a) 防災マニュアルに沿った避難訓練、マニュアルの検討を行う。</p> <p>(b) マニュアルが機能するよう、避難通路や防災用具を定期的に点検する。</p> <p>(c) 緊急集団下校マニュアルに添い、円滑な保護者への引き渡しを目的とした訓練を行う。</p> <p>(d) 緊急時の一斉配信システムを整備する。</p> <p>(e) 宿泊を伴う校外行事では、最初に避難経路を児童に知らせ、必要に応じて避難訓練を行う。</p> <p>② 不審者等の危機管理 不審者対策危機管理マニュアルにそって危機レベルごとの迅速な対応ができるよう、職員の訓練を行う。</p> <p>③ 外部組織と連携し、安全意識向上のための教育を行う（四條畷警察・安全教室、NTT安全モラル教室等）</p> <p>④ 「自分のいのちは自分で守る」意識を徹底させ、教職員とともに臨機応変に避難できる子どもを育てる。</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災や安全に関する指導に努めている ・衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている 	<p>防災や安全に関する指導に努めている…3.9</p> <p>衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…3.7</p> <p>緊急時のマニュアル整備や登下校チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する職員の自己評価は0.1ポイント減。緊急時に対応する防災訓練等の安全対策についての自己評価も0.3ポイント減。防災係を中心として、再度取り組みを見直す必要がある。
5 教育環境の充実	学校の美化全校で取り組む。	<p>① 児童の自教室の美化意識を向上させることで、校内全体の美化意識向上につなげる。</p> <p>② 児童に持ち物を自主的に整理整頓させ、担任は指導を定期的に行う。</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を大切にする心や、美化意識の向上に努めている <p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の施設、設備は充実している 	<p>物を大切にする心や、美化意識の向上に努めている…3.9</p> <p>教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3.4</p> <p>自然環境保全の意識向上に努めている…3.3</p>